フランチェスコ・トリスターノ

2013年2月20日（水） 18:00開場 19:00開演

全席指定 ¥5,000

バッハから
ブクステフーデへの
飛翔。

Francesco Tristano

2013
02.20 wed

Francesco Tristano:Prelude

Buxtehude:Aria 'La Capricciosa'/Toccata in d minor/Suite in d minor

Francesco Tristano:La Franciscana

Bach:Partita No.3 BWV827/No.5 BWV829

Francesco Tristano:Chaconne

フランチェスコ・トリスターノ:プレリュード

ブクステフーデ:アリア「ラ・カプリッチョーザ」による32の変奏曲 ト長調 Bux WV250／トッカータ ニ短調 Bux WV155／
組曲 ニ短調 Bux WV233

フランチェスコ・トリスターノ:La Franciscana

バッハ:6つのパルティータより 第3番 ニ短調 BWV827／第5番 ト長調 BWV829

フランチェスコ・トリスターノ:シャコンヌ

20th Anniversary

OJI HALL | 2012.10.27(sat)10:00発売 | 王子ホールチケットセンター | 03-3567-9990

伸びやかに飛翔する新時代の奇才。

ジャンルを超えて音楽の世界を伸びやかに飛翔する新時代の奇才、フランチェスコ・トリスターノが、王子ホールに初登場します。作曲も手がけ、ピアニストとして特にバッハ、現代曲に於ける演奏で早くから高い評価を得、異ジャンルのアーティストからも共演を求められる彼。次なるチャレンジは、バッハにも多大な影響を与えたオルガニストでもあったブクステフーデ。プログラムは自作のプレリュードに始まり、ブクステフーデのオルガンやチェンバロのための作品、そしてバッハのパルティータを挟んで自作のシャコンヌで締めるという構成。モダン・ピアノでのブクステフーデ演奏も大変めずらしいですが、バッハにとってのゴルトベルク変奏曲に相当する彼の「ラ・カプリッチョーザによる32の変奏曲」がトリスターノの美しい音色で奏でられると如何ばかりか、期待が高まります。

Francesco Tristano: Prelude
Buxtehude: Aria 'La Capricciosa'/Toccata in d minor/Suite in d minor
Francesco Tristano: La Franciscana
Bach: Partita No.3 BWV827/No.5 BWV829
Francesco Tristano: Chaconne

1981年、ルクセンブルク生まれ。ルクセンブルク音楽院、王立ブリュッセル音楽院、ラトヴィア音楽アカデミー、パリ市立音楽院で研鑽を積んだ後、98年ジュリアード音楽院に入学、修士の学位を得る。2004年のオルレアン(フランス)20世紀音楽国際ピアノコンクールで優勝、またルクセンブルク・フィルハーモニーによりヨーロッパ・コンサートホール協会の「ライジングスター」ネットワーク・アーティストに選出され、ウィーンのムジークフェラインを含むヨーロッパの著名ホールで数多くリサイタルを行う。ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ・フェスティバル、ルール・ピアノ・フェスティバル等に参加するほか、ヨーロッパ、アジア、アメリカで多くのリサイタルやソリストとしての活動を行っている。00年、19歳でミハエル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団とアメリカ・デビューを果たす。以来、ルクセンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、リール国立管弦楽団、王立ワロニー室内管弦楽団、ニューヨークの新ジュリアード・アンサンブル等と演奏。また、プレトニョフの他、クラウス・ペーター・フロール、エマニュエル・クリヴィヌ等の著名指揮者と共演。10年には、ハンブルク交響楽団(音楽監督:ジェフリー・テイト)のレジデント・アーティストに選ばれ、ソロ・リサイタル、テクノ音楽の公演、さらにハンブルク交響楽団のソリストとして多数の公演に出演する。また、12年1月、ハンブルク交響楽団のアメリカ・ツアーにもソリストとして参加。01年、自らソリスト・指揮者として演奏する室内オーケストラ、ニュー・バッハ・プレイヤーズを設立。04年、ルクセンブルク大劇場とブリュッセルのボザール劇場でヴィヴァルディの「四季」のピアノと弦楽のための編曲版の演奏会を開催し指揮とピアノを弾く。幼少より作曲と即興に親しみ、室内楽の他、ソロ・ピアノやジャズ・アンサンブルのための曲も作曲している。また一方、テクノ音楽の活動では、デトロイト・テクノの偉人カール・クレイグから世界各地での公演に数多く招待され共演している。さらに、ピアノ2台とドラムのユニット「アウフガング」の活動も行っている。01年の初レコーディングではバッハの「ゴルトベルク変奏曲」を、その後ニュー・バッハ・プレイヤーズとバッハの鍵盤の協奏曲の全チクルスをワルシャワで録音。05年、フランスのSisypheレーベルからルチアーノ・ベリオの全ピアノ作品の録音をリリース、06年、ペンタトーン・クラシックからプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団の共演でラヴェルのト長調の協奏曲&プロコフィエフの第5番の協奏曲をリリース。07年Sisypheレーベルからフレスコバルディの12のトッカータ(第1集)をリリース。10年2月の本格的な来日公演では全国で6公演を行い、大成功を収める。同年3月、ユニバーサル・クラシック&ジャズ(ドイツ)と専属契約を交わし、11年3月にJ.S.バッハ、ケージ、自作でドイツ・グラモフォンからCD「bachCage」をリリースした。同年6月、再来日を果たし、全国で「bachCage」のプログラムを含む6公演を行う。この6月来日ではNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」にも出演、さらにNHK-BSの「エルムンド」にもライブ出演し、「bachCage」ショート・ヴァージョンの演奏を行う。12年2月、ダンスの鬼才、勅使川原三郎、佐東利穂子と「リユニオン～ゴルトベルク変奏曲」公演をすみだトリフォニーホールで行い大成功を収める。

Long Walk　ヨーロッパ盤 476 5003　9月14日発売(日本盤 UCCG-1600 12月発売予定)
ブクステフーデ:トッカータBuxWV165、カンツォーナBuxWV168、BuxWV173、シャコンヌBuxWV160、アリア「ラ・カプリチョーザ」、J.S.バッハ:「ゴルトベルク変奏曲BWV988」より第30変奏/トリスターノ:Long Walk/J.S.バッハ:「ゴルトベルク変奏曲BWV988」より"アリア"/トリスターノ:グラウンド・ベース
トリスターノの最新盤。ブクステフーデのピアノ版は珍しいが、スタッカート気味に弾かれる音楽は、鋭角であるようでいて、聴き終わった後に、清涼感を残す。グールドの世界に近いものがある。後半はバッハの作品を前奏と間奏にして、自作を披露。現代ポップスの「アンビエント」(環境音楽)や「テクノ」(ミニマル的な電子音をロックのリズムに乗せた音楽)に影響を受けた彼の作品は、工夫も多く、ピアノという楽器に寄り添って、聴き応えがある。若い人にぜひ聴いてもらいたい。

写真:© Aymeric Giraudel

●チケットのお問い合わせ・お申し込みは

王子ホール チケットセンター 03-3567-9990
http://www.ojihall.jp/

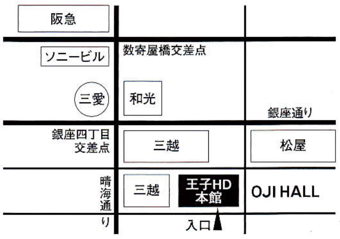
●発売日とその翌日は、電話とインターネットのみで受け付けいたします。
※発売日は1申し込みにつき1公演4枚までの枚数制限がございます。
※即日完売の場合もございますので、ご了承下さい。
※通常営業日:月曜～金曜 10:00～18:00(発売日以外の土曜・日曜・祝日は休業)。

■CNプレイガイド:0570-08-9990 http://www.cnplayguide.com/
■ローソンチケット:0570-000-407 http://l-tike.com/(Lコード:38739)
■e+イープラス:http://eplus.jp/oji/(パソコン&ケータイ)

《発売日》2012年10月27日(土)
10:00から発売します。

●お席は全席指定です。●開演中のご入場はご遠慮いただく場合がございます。●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮下さい。●公演内容については一部変更になることがございますので、ご了承下さい。

ACCESS
- JR有楽町駅 銀座口より 徒歩7分
- 地下鉄銀座駅 A12出口より 徒歩1分
- 地下鉄銀座一丁目駅 9出口より 徒歩5分
- 地下鉄東銀座駅 A2出口より 徒歩2分



OJI HALL
銀座 王子ホール 〒104-0061東京都中央区銀座4-7-5

このチラシは王子製紙OKトップコートマットN菊判76.5kgを使用しています。